



火の見櫓

(題字は 柴谷八尾市長)

発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
小角道男
八尾市高美町5-7
TEL(0729)92-0119
FAX(0729)92-7722



ポンプ操法訓練

平成15年11月23日(日)消防本部において、八尾市消防団22分隊、110名が参加しての、ポンプ操法訓練が実施されました。

この訓練は、小型動力ポンプ付積載車を使用し、各分隊5名での実践操法で、現場到着から吸水↓ホース延長↓放水↓消火↓収納↓退場までの一連の活動をいかに迅速かつ的確に行うかを目的に行われました。各分隊とも事前に練習を行ってきたようですが、いざ本番となるとなかなかうまくいかずに四苦八苦していたようです。実際の火災現場においては、操作ミスや連携の遅れが大きな事故に繋がることも多々あります。これからも各分隊においてこのような訓練を実施し、団員個々の技術や団結力を向上させなければと実感しました。

高安分団 小西

魅力ある消防団を目指して



八尾市消防団長
小角道 男

春たけなわの今日この頃、消防団員皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃、地域住民の生命、財産を災害から守るため日夜献身的に活躍されていることに対しまして、心から敬意を表し感謝申し上げます。

昨年6月に神戸市の住宅火災において4名の消防職員の方が、また、7月には熊本県水俣市において集中豪雨で消防団員の方が、さらに8月には三重県多度町において爆発火災で消防職員の方が2名殉職するという重大事故が短期間のうちに相次いで発生し、災害時における活動の危険性をあらためて痛感いたしました。

海外では、昨年12月イラン南東部ケルマーン州バム市を中心にマグニチュード6.6の大地震が発生し4万1千の住民が死亡したと報道されています。

幸いにしまして、本市におきましては、大きな災害にも見舞われず、また、多数の負傷者を出す事故もなかったことは、消防本部の日夜たゆまぬ努力と団員各位が地域における防災の中核としての尽力の賜と深く感謝と敬意を表すしだいでございます。

消防団におきましては、機械器具置場の改築、小型動力ポンプ付積載車の充実、また、イメージアップのためアポロキャップ、活動服の導入、さらに地域行事等に積極的に参加して人的交流及び防火思想の普及を図ってきたところであります。

今後さらなる魅力のある消防団づくりのため、活性化の推進を図ってまいります。

終わりに本消防団の発展と団員皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。

消防出初式

平成15年1月12日(月)午前10時、八尾中学校において、大阪市消防局航空隊の祝賀飛行をかわきりに、消防職・団員総勢468名、車両35台が参加し、平成16年消防出初式が挙行されました。

式典は、国旗掲揚、殉職者に対しての黙とうの後、消防音楽隊を先頭に徒歩部隊、車両部隊の行進、地域防災に貢献した団員に市長・団長表彰が授与されました。その後、消防救助隊による訓練披露があり、最後に一斉放水で、出初式は幕を閉じました。



毎年、出初式当日の朝には、各分団では恒例行事があると思われませんが、南高安分団では、朝6時半に分団屯所に集合、氏神である恩智神社に参拝し、御折祷して頂き今年一年の防災活動の安全を祈願します。その後、地区内3ヶ所の貯水池、貯水槽で放水訓練を行い、出初式会場へと向かいます。今年も年頭行事を行い、地域防災への意識を新たにすることが出来ました。

最後になりましたが、天候に恵まれたとはいえ、熱心にご観覧頂きました皆様にお礼申し上げます。また、消防職・団員の皆様ご苦労様でした。

南高安分団 松岡

名物団員



我が分団の名物団員と言えば、前広報委員長の「典ちゃん」と、横山典久技術団員です。

彼は、ギターを弾き始めて25年。「女の子にもてたい！」という理由から始めたそうです。ジャンルはズバリ、フォークソング！典ちゃんがギターを弾きはじめる、みんなが歌いだします。団員の中には「俺もギター覚えたい。教えて！」とギターを買ったけれど挫折した者も...

結局、弾くのは典ちゃんにまかせ、他の者は歌う方に専念しています。休みの前の日なんかは、時間も忘れ思い出の歌に盛り上がりてしまいます。年末夜警の陣中見舞に来て頂いた人達とも、楽しく、にぎやかに歌う事もあり、地域の人もふれあいを持てる時間であると思っています。

また、典ちゃんは分団一の酒豪

でもあり、こちらはギターと違い、ジャンルなどは関係なく、日本酒、ビールはもちろんワイン、ブランデー、焼酎、どぶろく...となんでもござれ！ただ、ホワイトリガーだけは、口に合わなかったそうです。

久宝寺分団 福田



【典ちゃん談】

ギターに興味をもったのが中学3年生の時。当時、自宅近くで下宿屋をやっていた関係で、大学生の聴く「吉田拓郎」や「井上陽水」にハマってしまいました。その時代は「KISS」や「クイーン」なども来日していたのですが、ロック系にはあまり興味がなかったです。おかげで勉強の方はボロボロになってしまいました。決してテクニクを追求するわけではなく、「みんなが楽しもう！」という感じです。最近はウクレレにも手を伸ばしています。ギターとは違いコードがかなりやさしいので皆さんもチャレンジされてみてはいかがですか？

「大阪府消防表彰式」

平成16年3月21日(日)、府立青少年会館で平成15年度大阪府消防表彰式が行われ、本市から消防庁長官表彰を含め多くの団員が栄ある表彰を受章されました。



消防庁長官表彰

○永年勤続功労章

副団長 阪上 政義

大阪府知事表彰

○消防勤続功労章

山本分団 副分団長 梶本 成俊

山本分団 部 長 岩田 保一

○消防功労章

南高安分団 分 団 長 坂上 勝彦

曙川分団 副分団長 奥田 庄司

志紀分団 副分団長 角倉 建基

志紀分団 部 長 西田 佳敬

日本消防協会会長表彰

○精績章

副団長 齋 当 滋

○勤続章

山本分団 副分団長 志賀久仁利

大阪府消防協会会長表彰

○永年勤続章

西郡分団 分 団 長 竹口 登

西郡分団 副分団長 木下 清一

曙川分団 分 団 長 山口 修次

高安分団 分 団 長 西野 仁

山本分団 団 員 岩崎 信雄

山本分団 団 員 井藤 守幸

○勤続章

大正分団 部 長 今 仲 茂

南高安分団 部 長 西尾 公伸

山本分団 班 長 石井 一夫

志紀分団 副分団長 西川 幸治

○勤功章

久宝寺分団 分 団 長 藤本 哲也

龍華分団 分 団 長 泉 良幸

大正分団 分 団 長 高橋 康夫

西郡分団 部 長 河野 光春

志紀分団 班 長 谷 光 大

○精勤章

久宝寺分団 副分団長 久田 義幸

龍華分団 部 長 辻村 良弘

大正分団 副分団長 岸本 修

南高安分団 部 長 大西 雅博

高安分団 班 長 辰己 勝彦

高安分団 班 長 坂井 弘明

山本分団 班 長 阪本 真人

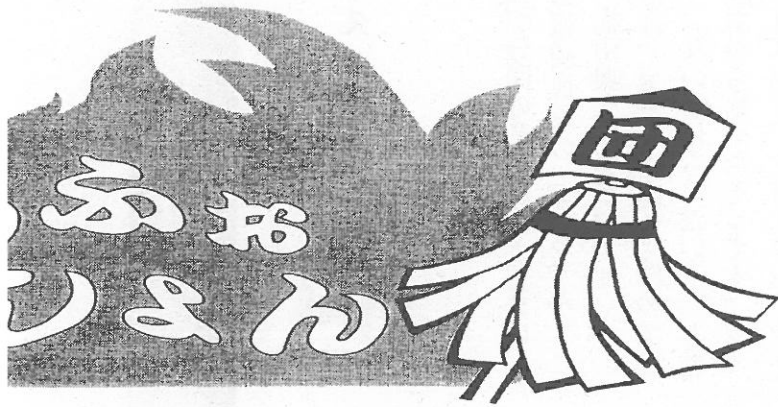
志紀分団 班 長 大窪 光一

八尾分団

文化財訓練

平成16年1月26日(月)の文化財防火デーに、本町5丁目の常光寺において消防訓練が実施されました。

常光寺は「八尾地蔵」の名で古くから親しまれ、八尾市指定文化財で「日本の三地藏」の一つといわれる「木造地藏菩薩立像」を含め多くの文化財が所蔵されており、夏の盆踊り時には、河内音頭を楽しむ人々でごった返します。訓練は寺院関係者による通報訓



練、初期消火訓練に始まり、文化財の搬出訓練や、消防署・消防団による放水訓練・応急処置訓練などが実施されました。

放水においては、実物のお寺ということもあり慎重になりましたが、事故もなく無事終えることができました。地域とのかかわり、特殊な建物での訓練であったため、普段の現場とは少し違う良き経験になったと思います。特に、地域に密着した消防団を知っていただき、また災害時には一緒になって活動していただくためにもこのような訓練は非常に大切なことだと感じました。

小川元

曙川分団

魚釣りツアー

11月8・9日、山口分団長がよく行く伊勢・迫間浦の「海上釣り堀」へ曙川分団の有志8名で魚釣りに行きました。

8日の午後3時に曙川分団屯所に集合し伊勢に向けて出発、釣り堀近くの民宿に宿泊しました。

当日は全員5時30分に起床し、民宿の女将が用意してくれたおにぎりを食べ、いざ海上釣り堀へ！仕掛けなどは分団長が用意してくれていたもので、初心者も大助かり、すぐにつり堀には8本の竿がならびました。

最初にヒットしたのは、やつぱり・・・大きく竿をしならせ、数分間の格闘の末、顔を出したのは約40センチの鯛でした。

その後は、他の団員にも次々と当りがあり、全員大物の豪快な引きを堪能できました。

気になる釣果なのですが、40センチ級の鯛31匹を含め、シマアジ、メジロ、カンパチと合計41匹の収穫で、家族に良い土産ができたと大満足でした。

これからもこの様な企画をして、団員の親睦をより一層深めていきたいと思えます。

吉村

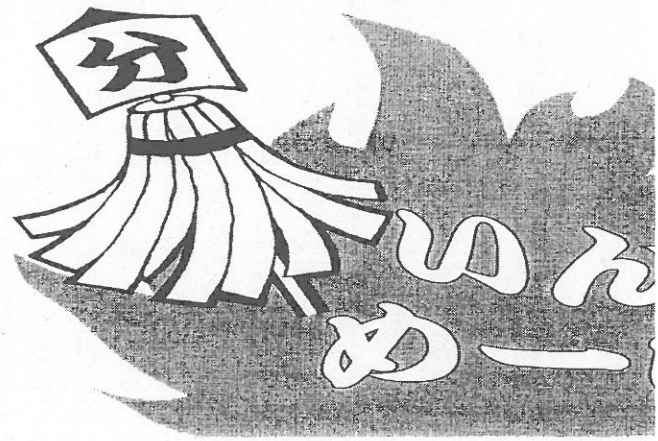


広報部

健康管理は大丈夫

平成15年11月8日(土)消防本部屋内訓練場において健康診断が実施され、全団員の約半数の方々が受診されました。全体の判定としましては、全受診者の約80%の団員が何らかの異常があるという結果であり、特に肝機能、血中脂質が中心のようです。

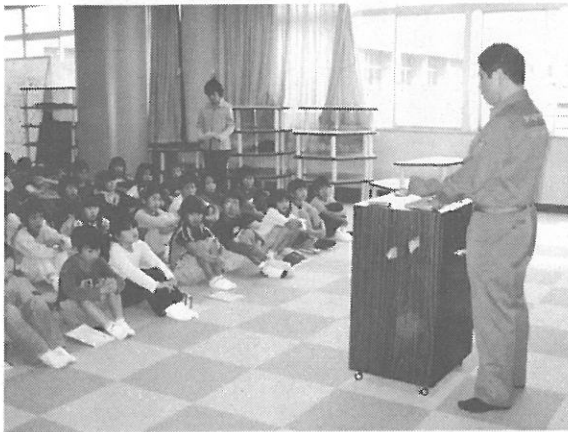
世はまさに健康ブーム！これを機に、普段から規則正しい生活習慣を身につけ、バランスのとれた食事を心がけたいものです。



大正分団
未来の消防団員たち

昨年度、南高安分団で行われた「聞取り学習」を私たち大正分団も行うということになり、平成15年10月28日(火)地元の大正北小学校の4年生を対象に実施しました。当日は、私たち大正分団木の本分隊と消防本部からは警防課、亀井小隊が小学校に出向き、講義を行いました。

はじめに高橋分団長から消防署と消防団の違いや体験談を、消防署からは、火災の原因や火災予防などの話があり、子供たちも熱心に聞き入り、質疑応答もいつ終わるのかと思うぐらいでした。



その後、「体験学習」として車両・資機材の説明や放水体験を行いました。最後に団員の放水で締めくくりました。

後日小学校から感想文を受け取り、「消防新聞」を作ったことや「初めて消防車に触れて感動した」「消防についてよくわかった」など本当にたくさんの事を感じ取ってくれたことを知り、ひよつとしたらこれをきっかけに、未来の消防士や消防団員が生まれるかも・・・と予感させるものでした。

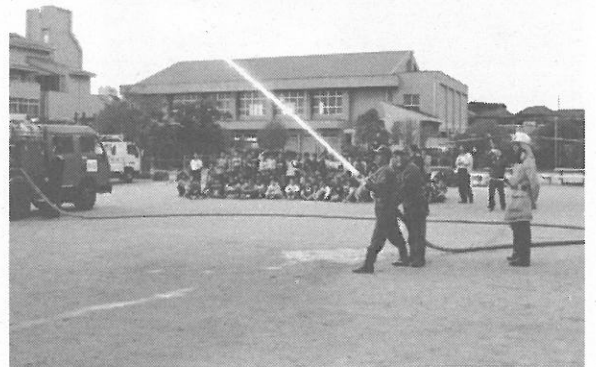
この「聞取り学習」は子供たちから大変好評で、他の分団でも実施して頂き、防災・防火意識の高揚と消防への認識が高まれば・・・と思う団員たちでした。

杉本

志紀分団
近くにこんな施設が

大規模災害に備えて大阪府では、北部(万博周辺)、中部(八尾空港周辺)、南部(りんくうタウン周辺)の三ヶ所を広域防災拠点として整備しており、私たち志紀分団は八尾空港周辺を管轄しているため、今回はこの防災拠点について取材してみました。

大阪府中部防災拠点は、八尾市空港一丁目に位置し、総面積は5.4ヘクタールで、災害救護物資の備蓄や災害時に使用する防災行政無線を備え、消防機関をはじめ、府災害対策要員、警察、自衛隊など

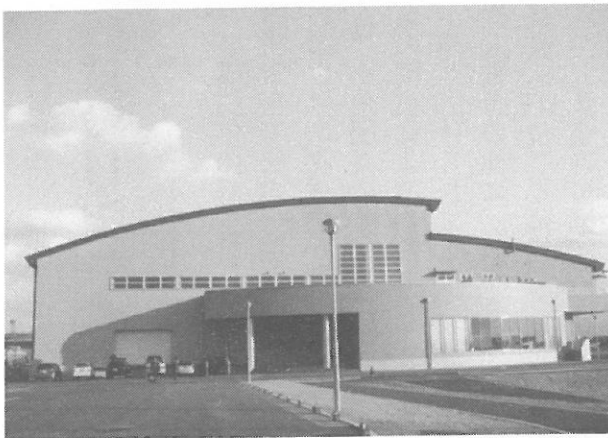


が集結し、連携を図りながら、迅速かつ的確な災害救護活動を実施することを目的として建設されました。他にも流域調節池事業との共同事業により、周辺の浸水被害を軽減する役割もあります。

また、災害時以外には市民のレクリエーションや憩いの場として各種スポーツやフリーマーケット、運動会など多目的に利用できるそうです。

このような施設が近くに建設されたということもあり、我々志紀分団も、阪神・淡路大震災での教訓を各自で再認識し、日頃の消防活動で培った技術をいかして、より一層地域住民のお役に立てるように、防災活動に取り組んでいきたいと改めて実感しました。

増田・吉内



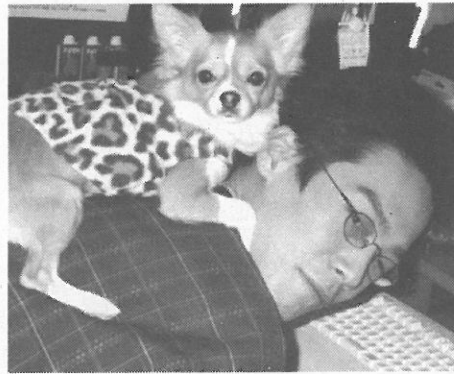
今までを振り返って

私は入団してまだ二年目なのですが、最初の頃は毎日が緊張の日々でした。と言うのも出勤前に流れる無線の音に「ビクッ」としてしまふのです。はじめは無線が聞こえた瞬間に大慌てで着替えて待機し、管轄外と分かった時は着替え直し、再び無線が鳴ったらまた着替えての連続でした。私は出勤する範囲や無線の内容が理解できなかつたので、どんな内容でも、どの場所でも出勤しなくてはならないと思っており、一人でパニック状態だったので。最近になつてようやく無線の内容を理解できるようになりました。実は、昨年の10月に無線講習を受け、無線従事者免許を取得したからです。この講習は、最後にテストがあり、授業をしつかり聞いていればそんなに難しくはないと思つていました。実際はかなりの難問に気が動転してしまい簡単な問題でのミスがあり、少し不安になつていましたが取得することができてホッとしています。

消防団に入団し、今まで経験で

きなかつたことや他の分団の人達と交流ができたたり、特に消防団の厚生事業のボウリング大会では同じ分団をはじめ、他の分団の人達とも交流でき消防団に入団して本当によかつたなあと感じる毎日です。これからも色々な人と交流し、一人の消防団員として自分の出来ることからがんばつていき、一日も早く先輩に追いつけるように技術を磨いていきたいと思つています。

山本分団 塚尾



歳末特別警戒

年の瀬も迫る12月末、22日と29日、30日にかけて歳末特別警戒を実施しました。私たち龍華分団では、警戒パトロールを中心として

非常事態に備えて逸早く出勤できるように火災の多く発生する時間帯に消防団詰所で待機などを行つていました。今年からは、亀井町の皆様も22日、30日にかけて夜遅くまで毎日交代でパトロールを実施していただき、幸い大きな災害や事故もなく新しい年を迎えることができました。

一昨年に自主防災組織が立ち上がった影響もあり、地域住民の皆様方の防火意識が高揚していますので、これを機に私たち龍華分団も今までより一層、火災や犯罪のない町づくりをめざしてがんばつて行きたいと思つています。本日に各町会の皆様、寒い中ご苦労様でした。

龍華分団 廣岡・岡田



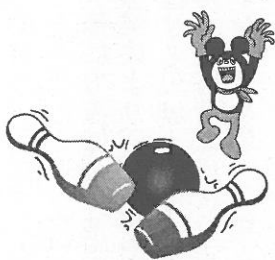
ボウリング大会

平成15年10月23日(木)に、消防団厚生事業の一環として、恒例のボウリング大会が開催されました。小角団長の始球式に始まり151名の団員により白熱した上位争いが繰り広げられました。今回は上位入賞者の他に、3年連続の消防長賞(119位)を獲得した植野保弘さん(久宝寺分団)の記録に、会場は大いに盛り上がりました。

主な上位入賞された方々は次のとおりです。

- 優勝 松田充弘 347点 高安
- 準優勝 山科雅一 329点 志紀
- 3位 辻井義治 329点 山本
- ハイゲーム賞

- 松田充弘 224点 高安
- 久宝寺分団 志村

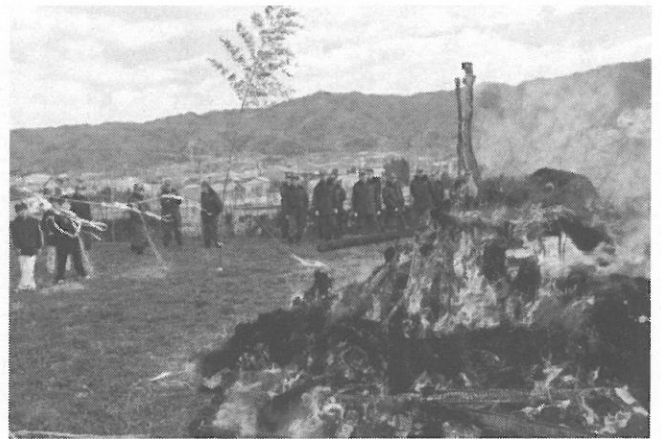
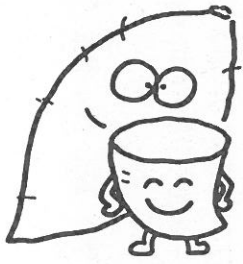


つとむ

平成16年1月11日(日)に東山本地区運動広場で福祉委員会とジュニア連合会、育成会連合会及び山本分団35名との共催で「とんど焼き」と「やきいもパーティー」が開催されました。「とんど」とは、「とんど」とも言われ、小正月に門松やしめ縄を集めて焼き、無病息災を祈願する生活習慣を言います。

今年から東山本地区の伝統行事として伝えていこうと言うことになり、地区の長老から指導をして頂いて、古式に習いといんどが作成されました。当日は少し寒かったのですが、大変多くの方が参加してください、子供たちの活気に大人たちも後押しされて、とても初めて開催された行事とは思えないほどの盛況ぶりです。準備していた450人分のやきいももお昼前にはすべてで無くなつてしまいました。地域で語り合う楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

山本分団 梶本



防災とボランティア訓練

1月18日(日)八尾市立曙川東小学校において、防災とボランティア訓練が実施されました。

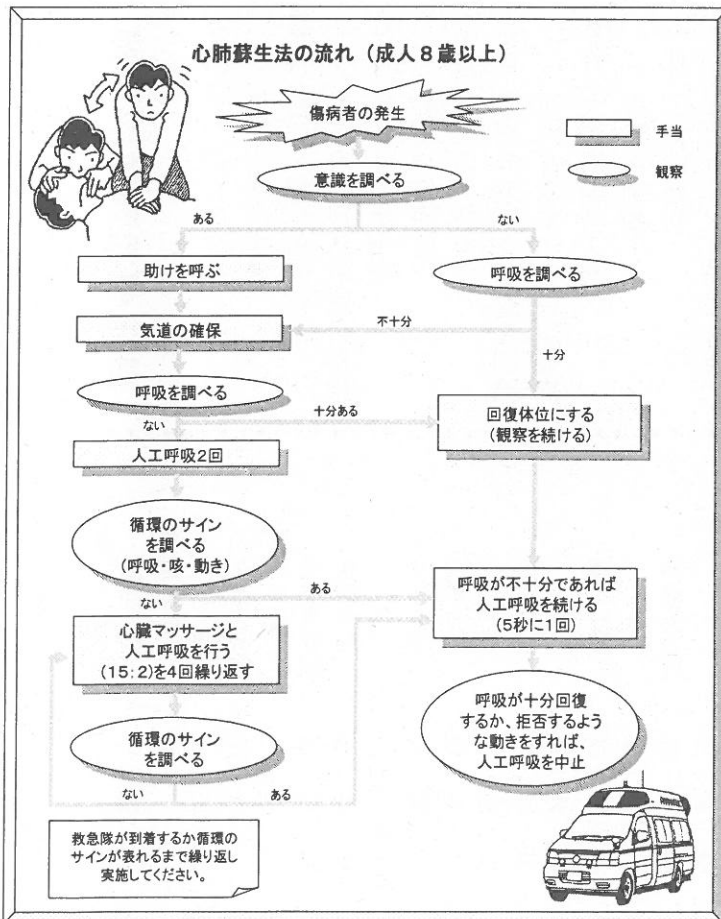
この訓練は、大地震発生時のボランティア活動に対する認識を深め、地域住民と各関係機関が連携し災害救助活動の迅速化を図るためのもので、参加人員は関係機関・地域住民の総勢約200名、我が曙川分団も1台10名が参加しました。

訓練内容は、体育館では火災を想定した煙中体験や人命救助のた

めのロープ結索また、災害時に各家庭でもすぐに作成できる応急担架作成要領や心肺蘇生法・応急処置など負傷者が発生した場合の講習を、また、グラウンドでは警察・消防の各レスキュー車両や資機材の展示・説明そして起震車による地震体験が実施され、震度6の体験をした方は立つこともできず、「地震の恐さをあらためて痛感しました。」と語っておられました。

我々消防団も、いざという時に迅速な対応が出来るよう様々な訓練と知識の向上に努めていく所存です。

曙川分団 吉村・藤井



消防総合訓練

平成16年3月7日(日)春季火災予防運動の最終日、今年5月に開院予定の新八尾市立病院において、消防職員・団員・病院関係者など125名、車両8台、大阪市消防局の航空隊も参加して消防総合訓練が行われ、消防団からは、久宝寺・龍華の2個分団10名が参加しました。

訓練は、6階食卓コーナーから出火したとの想定で、病院職員による初期消火訓練・避難誘導訓練に始まり、ヘリコプターからの降下訓練、逃げ遅れた要救助者の救出・救護と応急処置訓練と多彩な訓練が展開され、最後に一斉放水で幕を閉じました。

新しい病院ということもあり、



関係者など数多くの見学者の姿が見受けられました。

事前に想定された訓練ですが、思うようにはなかなか行かず、一斉放水の時、放水圧が上らなかつた場面もあり、もしこれが実際の火災であつたら大変なことになっていたのでは、と思う次第です。また、団員の中にはホースと筒先を担いで4階まで駆け上がるだけで息が切れ、体力不足を実感したとの声もありました。

都市化が進み、市内に高層建築物が増加して行く中、我々消防団も技術・体力の向上に努めなければならぬことをつくづく思い知らされた訓練でした。

どうか本当の火災が起こらぬようにと祈り、火災予防に努める私です。

久宝寺分団 志村

消防団年間行事予定

- 4月 消防団員任命式
恩智川水防訓練
- 5月 初任・幹部科研修
大阪府地域防災総合訓練
- 6月 消防団厚生事業
幹部視察研修
- 7月 大阪の消防大賞
- 8月 中河内地区支部総合訓練
河内音頭まつり特別警戒
- 9月 大阪府消防大会
市防災訓練
- 10月 広報誌発行
消防団ポンプ操法大会
- 11月 秋季火災予防運動
消防総合訓練
- 12月 消防団健康診断
防火フェスティバル
消防団厚生事業
- 12月 歳末特別警戒
消防出初式
- 1月 防災とボランティア訓練
文化財訓練
- 3月 春季火災予防運動
消防総合訓練
消防記念日式典
大阪府消防表彰式
広報誌発行

広報部会名簿

委員		副委員長		委員	
高安分団	小西光	八尾分団	志川元	久宝寺分団	福田正三
志紀分団	吉内直之	龍華分団	岡田真一	西部分団	鳴林正雄
山本分団	岩田俊伸	大正分団	辻井敏一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	廣岡勝一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	吉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	吉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	高安分団	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	坂上明男	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	藤井善文	龍華分団	武林広高
南高安分団	黒岡正史	大正分団	杉本啓一	八尾分団	小笠原志一
高安分団	松田昭均	曙川分団	吉本啓一	龍華分団	